

人とモノの間に。



# TANA-X CSR Report 2017

株式会社タナックス CSR報告書

## CSR Report 発行にあたり

皆様に支えられ、株式会社タナックスは2017年で創業110周年を迎えました。

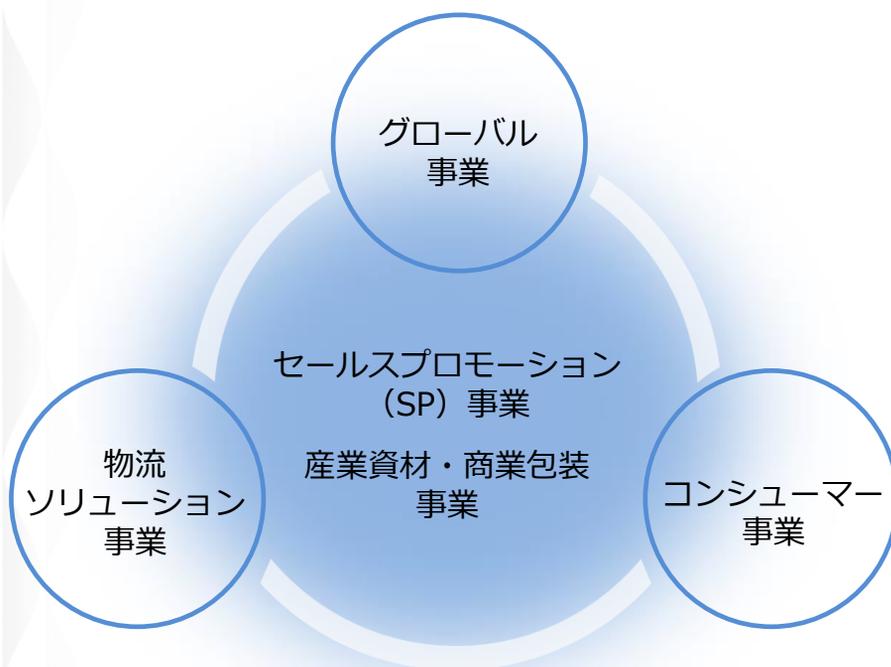
本レポートにより、タナックスグループのさらなる成長の基盤となる「CSR活動」をご報告いたします。タナックスグループについて、より多くのステークホルダーの皆様にご理解いただけますと幸いです。

### タナックス基本方針

タナックスグループは、常に新しい商品を開発し、品質価格についても、充分競争力を有する製品の生産販売に努力する。

タナックスグループは、会社の繁栄と社員の幸福とが常に一致するよう努力し、あわせて企業を通じ国家社会に貢献する。

#### 事業内容



#### 会社概要

商号	株式会社 TANA-X (株式会社タナックス)
会社代表者	代表取締役社長 田中 一平
本社所在地	〒600-8105 京都府京都市下京区五条通烏丸東入松屋町438番地 (タナックスビル)
設立	1951年(昭和26年)3月23日
資本金	3億6,400万円
決算期	12月
従業員	520名(2017年12月31日時点)

#### 編集方針

報告対象：株式会社タナックス（一部関連会社の情報も含みます）  
対象期間：原則として2017年度の活動を対象期間としていますが、一部2016年以前の情報も含まれています。  
環境ページのCO2排出量は、株式会社タナックスと得納克司（香港）貿易有限公司の2016年度CO2排出量の合計値を報告しています。（コンシューマー事業除く）

発行時期：2018年6月

問い合わせ先  
株式会社タナックス  
連絡先：TEL：075-361-2000（代）FAX：075-343-1790  
URL：http://tana-x.co.jp/

# Top Message



ステークホルダーの  
皆様とともに  
新たな価値を  
創造していきます。

平素より、当社への格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

創業から110周年を迎えた2017年に、株式会社タナックスの代表取締役社長に就任いたしました。当社は、明治の時代から包装資材の製造を手掛けてきた経験とノウハウを活かし、お客様の梱包改善やセールスプロモーションを主力事業として展開してまいりました。

特に包装資材や店頭販促物の製造においては、紙を主原料として使用していることから、地球環境問題への対応は経営の重要課題と認識し、温室効果ガスの排出削減および森林保全に貢献するため、これまで業界に先駆けて独自の環境配慮基準や森林認証を導入する等、積極的に環境経営を推進しております。

当社では、2015年にスタートした第6次中期経営計画において「Challenge for Change」をスローガンに掲げて、新たなビジネスフィールドの創造と経営基盤の強化に取り組んでおります。同計画の最終年度の2017年に物流ソリューション事業部を立ち上げました。物流革命の仕組みによって

労働者不足、増大する作業負荷・環境負荷といった社会的課題解決への貢献を目指し、日本国内のみならず、グローバルに事業展開してまいります。

また、お客様にご満足いただける品質の実現に向けて、協会会社様とともに取り組んでいくことを目的として「TS (TANA-X Standard) プロジェクト」を2015年から発足し、ISOによる環境・品質・情報セキュリティのマネジメントシステムをベースとした業務標準化と継続的改善に取り組んでおります。

ステークホルダーの皆様から信用と信頼を得る企業であり続けるために、社員の健康への配慮はもとより、働きやすい職場環境の実現と、地域社会との共生・調和を図り、引き続きさらなる成長と発展に向けて邁進してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社タナックス  
代表取締役社長

田中 一平

## 特集 森林認証紙の使用推進

### 全国拠点でFSC® CoC認証を取得し、森林認証紙の使用を推進

普段、私たちが利用する紙や木材は森林資源です。しかし世界では違法伐採による森林の減少、それに伴った温室効果ガス増加による地球温暖化の影響や、森林で働く労働者の権利が侵害されるなどの問題が起きています。紙を主原料とした梱包資材や紙製什器などの製造販売を手掛ける当社の事業活動は森林の持続可能性に密接に関係しているため、森林保全への貢献は企業としての社会的責任と捉え、「森林認証紙」の使用を推進しています。森林認証とは適切に管理された森林から伐り出した木材を原材料に使用することで「木を利用しながら森を守る」制度です。当社は森林認証の代表的なFSC-CoC認証を2010年に取得し、森林認証紙を使用した製品の製造販売を開始しました。特に当時のFSC製品では先駆けとなる市中回収古紙を原材料に活用するFSCリサイクル品※の製造スキームを構築するなど当社独自の取り組みを行い、認証取得以降、製造ノウハウの蓄積と、お客様企業へのご提案を続けて

きました。2017年の当社の活動としては、これまで森林認証品の自社製造拠点は本社工場のみでしたがFSC-CoC取得の製造拠点を拡大し、北海道工場、仙台工場、北陸工場、東京利根工場、広島工場、九州工場で認証取得しました。これにより、梱包資材として利用いただけるクレダン®の森林認証品を各エリアでご提供することが可能となっております。

森林認証は、すでに環境対策に取り組むお客様からの関心が高く、企業の調達方針として「森林認証紙の利用」を掲げて積極的に梱包資材や紙製品に採用される例も見られます。

当社の森林認証品をご利用いただくことで、環境取り組みの消費者への訴求、環境配慮品の調達など、お客様の企業における環境CSR活動の進展に貢献いたします。当社は森林保全の考えにご賛同いただく活動を継続しながら、お客様とともに森林認証紙の利用を推進してまいります。

※2015年より、FSCリサイクル品には市中回収古紙と産業古紙を使用できるようFSC規格が改訂されています。

#### タナックスの森林認証 取得体制



責任ある森林管理  
のマーク

FSC® C084665

#### ■ FSC-CoC認証取得サイト

本社／東京支店／大阪支店／関西支店／  
札幌支店／仙台支店／関東支店／名古屋支店／  
北陸支店／神戸営業所／中四国支店／  
九州支店／熊本営業所／  
本社工場／北海道工場／仙台工場／  
東京利根工場／北陸工場／広島工場／九州工場

(2018年6月現在)

# 環境

地球環境保全と地域環境への配慮は、経営における重要課題の1つです。

当社はCO2排出量の抑制と持続可能な資源の利用に努め、環境経営を推進しています。

## タナックス環境憲章

### 基本理念

株式会社タナックスは、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を果たすべく、地域社会との調和・共生をはかり、地球環境保全活動の推進と、資源の持続可能性確保に努めます。

### 基本方針

1. 省資源・省エネルギー・CO2排出削減の推進
2. 事業活動に関わる環境負荷の低減
3. 環境配慮品・森林認証品の拡販
4. 環境保全活動の公開と社内啓蒙

## ちゃんとエコ認定ラベル制度

店頭販促物、産業資材、商業包装材にて、ライフサイクル全般において環境負荷低減に配慮した製品を「ちゃんとエコ」製品として認定する、タナックス独自の環境ラベル制度です。

2009年の運用開始以降、持続可能な社会のために今できることを可能な限り実践する精神のもと、お客様とともに環境負荷低減を実行しています。営業、企画、設計、製造、廃棄、リサイクル等での環境配慮を加点点評価し、基準点をクリアした製品に「ちゃんとエコ」ラベルを付与。森林認証紙の利用推進、省資源化による環境負荷削減、環境コミュニケーションによる社会的な環境意識の向上などに貢献しています。



「ちゃんとエコ」ラベルは自己宣言型環境主張（タイプII環境ラベル）として、環境省の環境ラベル等データベースに掲載されています。

## ISO14001（環境マネジメントシステム）

2001年から本社工場にて、ISO14001（環境マネジメントシステム）を導入し、各種環境取り組みの目標を策定し、パフォーマンス向上に努めています。

システム運用では、第三者機関による定期審査を受け、有効性確認と改善を実施しています。



タナックス本社工場

## CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）

CDPとは、グローバル企業や主要国企業に対し、気候変動対策、森林・水資源の保護に関する環境取組みの公開を求め、評価付けを行う国際的プロジェクトです。企業評価にESG情報を活用する流れが強まる昨今、CDPIは企業の持続可能性を図る指標の1つとなっています。

当社は地球環境への取り組みを客観的に示す方法として2015年からCDPIに自主的に参画しています。

## CDPへの取り組みとCO2排出削減活動

### 2017年のCDP評価結果

2017年、当社はCDP質問書に回答し、前年の気候変動対策や森林保全活動の実績と、今後の戦略、リスクマネジメント結果を公開しました。主な評価結果として、気候変動部門でC評価、森林部門でB評価となり、特に森林部門では独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」や森林認証の活動が評価につながりました。

当社は今後もさらなる評価向上を目指し、環境活動の推進と情報公開を継続していきます。



2017年CDPの森林部門にて「B」評価を獲得



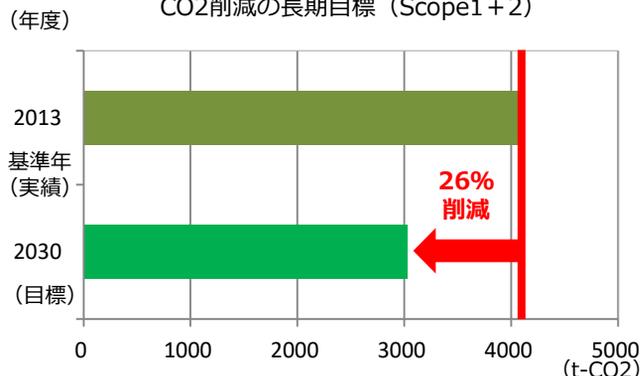
※回答内容として2016年の活動実績を公開  
※CDPでは回答内容によりA～Dで評価付け

### 2030年に向けたCO2排出量削減の長期目標を策定

地球環境保全は企業にとっての重要課題の1つと認識し、当社はCO2排出量の削減を進めています。その一環としてパリ協定での日本国内でのCO2削減目標の水準に沿うように、当社は2030年までに「2013年比26%削減」を目指す長期目標を策定。2017年のCDP気候変動でも当社のCO2排出削減目標として公開しました。

目標の達成に向けてより一層、省エネルギー化と生産性向上を努め、CO2排出量削減を推進していきます。

CO2削減の長期目標 (Scope1 + 2)

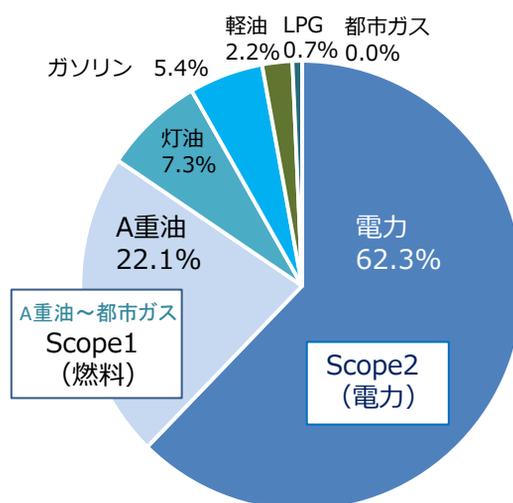


### CO2 排出削減活動

2016年度のCO2排出量は3,762t-CO2となり、基準年の2013年比で17%削減しました。当社では省エネルギー化や設計・製造での省資源化などの取り組みに加え、CO2削減を目的とした設備投資を推進しており、2016年のCO2排出削減では本社工場の照明LED化や高効率ボイラーへの入れ替えなどの効果が表れています。

主なCO2削減活動		実施年
照明のLED化	本社工場	2015年
	本社	2017年
高効率ボイラーへの入れ替え	本社工場	2014年
	東京利根工場	2016年
	北海道工場	2017年
本社・各工場における新電力採用		2015年から順次
営業車削減とカーシェアリング導入		2015年
本社工場での電気自動車の導入		2016年

当社のエネルギー種別CO2排出量 構成比 (2016年度)



2016年度のCO2排出量	3,762 t-CO2
2013年比の削減率	17%削減

(コンシューマー事業を除く)

# 人材・安全衛生・コンプライアンス

一人一人の社員が安心・安全に、かつ目標とやりがいを持って働ける職場づくりを実現するために、健康・人権対策、法令順守の徹底と意識浸透に取り組み、適正な企業活動に努めています。

## 残業削減・有給休暇取得活動

長時間労働の防止と生産性向上を促すために、残業削減活動として、勤怠管理システムを導入。各社員の勤務状況をデータとして把握・分析し、社員の健康維持や、業務・体制の見直しなどに活用しています。また年次有給休暇の取得促進期間の設定、メンタルケア・カウンセリングサービス導入、ストレスチェックの実施にも取り組んでいます。

## コンプライアンス推進体制

当社は、コンプライアンス活動を含めた全社的なリスク対策や業務・労務改善を推進するために、メンバーを選出して「TSプロジェクト事務局」を設置しています。



## 多様な人材活用

基本的な人権と個性の尊重を基本として、従業員一人一人がやりがいを持って働ける職場環境を実現するために、女性の活躍推進、高齢者雇用、障がい者雇用を促進しています。特にライフステージに合わせた多様な働き方ができるよう、育児・介護休業制度や、定年退職後の再雇用制度を実施し、引き続き拡充を進めています。

## 内部通報制度

会社の法令順守を推進するため、通常の社内報告ルートとは別に、従業員からのコンプライアンスに関する電話・メールでの通報・相談窓口として「タナックスホットライン」を設置しました。これにより、組織的または個人による不正・違反・反倫理的行為を未然に防ぐとともに、会社として速やかに事実確認と調査を行い、是正を図れる体制を構築しています。運用に際しては通報者の秘密の保護を厳守し、適正な対応を実施しています。

## Sedexでの倫理情報の公開と遵法性確認

(Sedex : サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)

Sedexは世界規模でサプライチェーンを構築する大手企業で取引先・仕入先の管理に活用される情報共有プラットフォームです。

当社は、サプライヤーとしての倫理的かつ責任ある事業慣行の証明を目的としてSedexに登録（本社工場）し、労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理を対象とした当社の企業取組みをSedexで公開しています。また公開情報をもとに第三者機関の審査を受け、その信頼性および遵法性を証明しています。



### ■ Sedexでの公開情報

項目	公開情報の概要
労働	労働時間、人権、賃金、懲罰と苦情処理メカニズム 等
安全衛生	有害物質、安全衛生マネジメント、労働者の健康、安全・衛生研修 等
環境	環境システム、温室効果ガスを含む大気への放出、エネルギー、水、原材料、汚染 等
ビジネス倫理	腐敗防止、管理システム 等

# お客さま・サプライヤー

コンプライアンス、人権の尊重、地球環境保全など、当社のCSRの考えに基づいた調達活動を通して、当社とお取引先様との長期的な相互の信頼関係を構築し、共存共栄の関係を目指します。

## タナックスCSR調達方針

### 1. お取引先様との共存共栄

当社は、事業活動を行うために必要な物品、サービス等を様々なお取引先様より調達し、付加価値を加え、当社の製造品、サービスとして提供を行っています。

この中において、当社とお取引先様とは、相互に長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてお互いが自己の持つ力の向上を図り、ともに繁栄、存続してゆく、共存共栄の関係を目指します。

### 2. 公平な機会の提供

お取引先様の選定については、企業としての信頼性、技術力、調達品の品質等による総合的な評価を行い、国内、国外、経営規模の大小を問わないものとし、新規希望者に対し、常に公平、公正な機会を与え、真摯に対応するように努めるものとします。

### 3. CSRに配慮した調達活動の推進

当社は、「CSR調達指針」に基づき、法令遵守、人権の尊重、労働安全衛生、製品、サービスの品質、安全性の維持、確保、情報セキュリティの維持、推進、公正取引、企業倫理、事業継続のための危機管理体制の構築、社会貢献等、CSRに配慮した調達活動をお取引先様とともに推進します。

### 4. タナックス「CSR調達指針」

当社は、CSRに配慮した調達活動を積極的に進めるため、「CSR調達指針」を作成し、自ら遵守するとともに、お取引先様に対しても、この指針の遵守を求めます。

## 認証紙・古紙の調達

お客様の環境配慮のご要望にお応えし、「持続可能な紙の利用」を推進するため、紙・板紙・段ボール原紙の供給元との強固なネットワークを構築し、森林認証紙や古紙の安定的な調達に努めています。

また、当社独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」において製品に対する環境配慮を加点評価する中で、古紙の利用を推奨し、製品における古紙含有率を高める活動を進めています。こうした活動を通して、当社の理念である「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を目指し、森林保全と資源の循環利用に取り組んでいます。

## 化学物質の安全性確認

製造時において化学物質によるばく露から作業を守るために、化学物質管理に関するルールを定め、取扱物質や作業内容についてリスクアセスメント評価結果に基づいた適切な作業環境を整備。取り扱う化学物質および規制対象物質のリスクアセスメント実施手順を定め、保護具の選定・使用徹底を図ることで、化学物質による健康被害予防と労働災害リスク低減に努めています。また、取り扱う化学物質についてSDS（安全データシート）を取得し、自社の製造現場および社外製造委託先様などの安全確保を図っています。

# 品質方針

株式会社タナックスのすべての社員は常にお客さま満足を追求し、各種ISOを基礎とした独自の品質管理システムを創造し、生産現場力を高めながら高品質な製品サービスの提供を目指した継続的な活動を実行していきます。

## 品質管理体制

当社は各種ISOを基礎とした品質管理システムを構築し、品質管理規程を含む社内ルールに基づいた運用を行うことで、安定した品質レベルの確保に努めています。また、生産プロセス管理の徹底と品質の作り込みを行うため、品質管理部門を設置。Webカメラやスマートフォンを活用した映像コミュニケーションシステムを導入し、製造現場の工程・品質確認、作業指示を遠隔地からもリアルタイムに行える体制を構築。こうした体制により、ヒューマンエラーの防止と不適合品流出の未然防止を図り、生産現場力の強化を図っています。

## ISO9001 (品質マネジメントシステム)

2013年に本社工場でISO9001認証を取得。この取組みを基に、2015年に全工場、2016年に本社、支店、営業所を含め、全社で認証取得しました。各工程で品質マネジメントシステムの有効性を高めるため、監査による課題の洗い出し、継続的改善、教育の徹底に取り組み、製品サービスの品質向上に努めています。



タナックス本社・  
全支店・全営業所・全工場

## ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)

情報資産の管理について、安全かつ確実な保護のもとで適切に共有・活用することが企業にとっての重要な課題と認識し、2016年にISO27001認証を取得しました。

当社では情報セキュリティ方針を制定し、お客様情報および個人情報の保護を継続的に実施しています。



タナックス本社システム管理室・  
東京支店・大阪支店・本社工場

各種マネジメントシステムを基礎とした  
**全社員参画による品質管理体制**



## 外部評価監査

当社ではサプライチェーンを含めて、お客様にご満足いただける製品品質の継続的な実現を目的として、お取引先様に当社の品質ガイドラインの運用と、監査による評価へのご協力をお願いしています。監査評価項目としては「品質管理」「環境上の規制」「情報の管理」「法令の遵守」の独自の設問項目を設定。この活動を通して今後もお取引先様と連携して製造品の品質向上を図り、ともに成長・発展する関係づくりに取り組んでいきます。

## ISO12647-2 (カラーマネジメントシステム)

当社は、印刷部門においてオフセット印刷の標準化(PSO)を規定した「ISO12647-2」の認証を取得しています。この認証取得により、オフセット印刷で安定したカラー印刷の提供ができる体制を構築し、印刷物品質、及び色の再現性が高水準にあることを証明します。



# 社内活動・文化スポーツ振興

社員間のコミュニケーションの場を作ることは、モチベーションの向上につながります。  
タナックスでは社内イベントや、文化・スポーツ貢献活動を社員の交流の場として役立てています。

## 110周年を記念した沖縄社員旅行

従業員への業務の慰労とモチベーションアップを兼ねて、当社では定期的に社員旅行を計画しています。

2017年は創業110周年を記念して、沖縄への社員旅行を実施。全国の支店・工場から参加し、日頃接することのない部門の社員同士もコミュニケーションを図ることを目的に、110周年記念セレモニーや運動会を企画し、社員間の親睦を深める交流の場となりました。



沖縄社員旅行での運動会

## 日本伝統文化の振興

当社は、豊かな社会と日本伝統文化を守ることを目的として一般財団法人京都国際文化振興財団に協賛しており、2017年に京都・二条城で開催された「二条城DE盆栽展～京彩～」にも協賛いたしました。

盆栽は日本が誇る伝統芸術として国内のみならず海外からも注目を集めており、今後も企業として文化振興に貢献していきます。



(左) タナックス会長 田中慶治 (右) 京都市長 門川大作氏

## 地域・スポーツ振興

### 【GAINER メインスポンサー】

夢と感動を与えてくれるスポーツの発展は、人や社会の発展にもつながります。

当社はモータースポーツにおいても、SUPER GT300に参戦するカーレーシングチーム「GAINER」のメインスポンサーを務めています。レーシングカーの仕様にはクライアントの主要製品を活用させていただくことで、当社と取引先との関係強化につながっています。



<http://www.gainer.asia>

### 【京都ハンナリーズ トップスポンサー】

スポーツを通じた地域社会の発展貢献の思いから、京都を本拠地としてプロバスケットボールのB.LEAGUEに参戦する「京都ハンナリーズ」をトップスポンサーとしてサポートしており、社員も応援に駆け付けています。



© KyotoHannaryz/B-league